

シュレーディンガー家の人々

あらすじ

シュレーディング家の屋敷内では絶え間なくベッド争奪戦^ニが繰り広げられている。

挑戦者は天井に糸で吊され、可動式のシングルベッドに仰向けになった王者が真下で待ち構える。

糸が切れるタイミングを見計らって王者がベッドを動かせば挑戦者は床穴へと落ちてゆく。

その日、長男の哲也(24)はベッド争奪戦に挑戦するもあえなく敗れ、穴に落ちて地下部屋行きとなる。

地下部屋ではシュレーディング家の人々が再挑戦のための抽選待ちをしていた。

抽選に当たらぬままの〇年にわたる無為な

日々が過ぎ、すっかり年老いた哲也だったが
ついにベッド争奪戦の挑戦権を手にする。

挑戦前、哲也は「栗林太郎」とラベルに書か
れたアンチエイジングの飴玉をしゃぶり、栗
林太郎の生命力を吸って若返る。

こうして哲也は再びベッド争奪戦に挑戦す
る。一家のこの営みは永久機関のように続く
のだった。

登場人物

哲也 (24) (84) シュレーディングー家

長男

長女 (26) (86) シュレーディングー家

長女

四女 (20) シュレーディングー家四女

9男 (22) シュレーディングー家9男

16男 (21) シュレーディングー家16男

48男 (20) シュレーディングー家48男

49男 (20) シュレーディングー家49男

2020男 (19) シュレーディングー家2020

男

6908男 (15) シュレーディングー家6908

男

19998男 (12) シュレーディングー家

19998男

受付1、2 シュレーディングー家使用人

執事 シュレーディングー家使用人

栗林太郎

サラリーマン

百合子

太郎の母

亜美

太郎の妻

愛

太郎の娘

○シュレーディングー家・大広間

だだっ広い室内。

車輪付きの可動式シングルベッドが一台、床に敷かれたレールの上に設置されている。

ベッドにはサイドレバーがついている。

哲也(24)、ベッドの上で仰向けになり、サイドレバーを握りしめている。

真上から、四女(20)が糸で吊された状態でゆっくりと降りてくる。

二人、じっと見つめ合う。

今にも切れそうな糸。

やがて糸がぷつんと切れる。

四女、ベッドへ向かって落ちてくる。

哲也、とっさにレバーを引いてベッドをスライドさせる。

床下から穴が現れる。

四女、穴の底へ落ちていく。

哲也、レバーを戻す。

ベッドが定位置に戻り、床下の穴がベッ

ドで塞がれる。

天井から16男(21)が糸で吊されて降りてくる。

16男、筋肉質な体つき。

二人、にやりと笑いあう。

糸、切れる。

哲也、すばやくレバーをひく。

16男、床穴へ落ちる。

哲也、レバーを戻す。

ベッドが定位置に戻る。

天井から48男(21)が糸で吊されて降りてくる。

48男、さらに筋肉質な体つき。

哲也、息をのむ。

糸、切れる。

哲也、すばやくレバーをひく。

48男、床穴へ落ちる。

哲也、レバーを戻す。

ベッドが定位置に戻る。

天井から49男(21)が糸で吊されて降

りてくる。

㊦男、究極に筋肉質な体つき。

哲也、不安。

糸、切れる。

哲也、すばやくレバーをひく。

㊦男、床穴へ落ちる。

哲也、レバーを戻す。

ベッドが定位置に戻る。

天井から㊦男（22）が糸で吊されて降りてくる。

㊦男、すらりとしている。

二人、見つめ合う。

糸、切れる。

哲也、すばやくレバーをひく。

が、タイミングが遅く、㊦男、穴に落ちそうになりながらベッドにしがみつく。

㊦男、ベッドの上へと這い上がる。

二人、もみ合いになる。

㊦男、哲也を床穴に突き落とす。

○同・地下部屋

哲也、勢いよくマットの上に落ちてくる。

哲也、両手で受け身をとる。

哲也、どうにか立ち上がる。

哲也、室内を見渡す。

薄暗い室内には大勢の人々。

哲也、テントの前に立つ、男の姿を見つける。

テントの天幕には「抽選会場」の文字。

哲也、テントへと向かう。

受付へ、哲也にガラガラを差し出す。

哲也、ガラガラを回す。

ガラガラから赤い玉が出てくる。

哲也、赤い玉を手取る。

赤い玉には「Eの5」と書かれている。

哲也、よくわからない。

受付へ、掲示板に紙を張り出す。

紙には「緑 Cの3」の文字。

若い女、テントへとやってくる。

若い女、「〇のω」と書かれた緑色の玉
を受付ーに渡す。

受付ー、「挑戦券」と書かれたチケット
を若い女に渡す。

若い女、テントの隣に設置された地上へ
と続く長い梯子の前に立つ。

大勢の人たち、若い女を見送る。

若い女、梯子をのぼっていく。

哲也、赤い玉をポケットにしまう。

哲也、焼きそば屋の屋台を見つめる。

哲也、腹を押さえる。

× × ×

哲也、座り込んで焼きそばを食べてい
る。

哲也の目の前には数台のベッド。

人々、ベッドの上に仰向けになり、レバ
ーを引いてベッド争奪戦の練習している。

哲也、食べながら眺めている。

×

×

×

哲也の脇に空になった焼きそばの容器がいくつも積み重なっている。

哲也、すっかりお腹いっぱい。

と、誰かがやってきて、哲也の隣に腰を下ろす。

哲也、隣を見ると、哲也を倒した男だ。

哲也、男を見ていう。

○テロップ画面

以下のセリフが表示される。

「負けたのか？」

○地下部屋

男、弱々しく笑って哲也に返す。

○テロップ画面

「手強い奴がいた」

○大広間

2020 男（19）、機敏な動作でリズムカ
ルにベッドのレバーを操っている。

挑戦者が次々と穴へ落ちてゆく。

○地下部屋（数時間後）

哲也と○男の二人、座り込んで焼きそ
ばを食べている。

受付「、テントの掲示板に張り紙をは
る。

紙には「赤 Eの5」の文字。

哲也、赤い玉を取り出す。

「Eの5」と書かれている。

哲也、興奮して立ち上がる。

×

×

×

哲也、テント前にやってくる。

哲也、受付Ⅰに玉を渡す。

受付Ⅰ、玉を見て首を振る。

哲也、わからない。

中年の男、やってくる。

中年の男、「口の5」と書かれた赤い玉

を受付Ⅰに渡す。

受付Ⅰ、中年の男に「挑戦券」を手渡す。

中年の男、人々に激励され、梯子をのぼっていく。

×

×

×

哲也、○男のもとへ戻ってくる。

哲也、肩をすぼめる。

×

×

×

哲也、9男、2020男の三人、座り込んで焼きそばを食べている。

○大広間

6908男(15)、2020男よりもさらに機敏な動作でレバーを操っている。

挑戦者が次々と穴へ落ちてゆく。

○地下部屋(数日後)

哲也、9男、2020男、6908男の四人、座り込んで焼きそばを食べている。

× × ×

大広間から落ちてきた19998男

(12)、マットの上で泣いている。

人々、19998男のもとに集まってくる。

哲也ら、騒ぎに気づく。

哲也ら、立ち上がる。

○テロップ画面

「どうしたんだ？」

○地下部屋

哲也たち、心配そうに1998男を見つめている。

○同・大広間

長女（26）、最初からレバーを引いてベッドをスライドさせた状態のまま悠々と読書している。

挑戦者たち、なすすべなく次々と穴に落ちていく。

○地下部屋

人々、怒り心頭。

哲也も怒っている。

○テロップ画面

「とんでもない奴だ」

「やっつけてやる」

○地下部屋

テントの掲示板に張り紙が貼られる。

「紅 Eの5」の文字。

哲也、ポケットから赤い玉を取り出す。

哲也、合点する。

哲也、意気込んでテントへ向かう。

哲也、受付1に赤い玉を渡す。

受付1、玉を見て首を振る。

若い男、やってくる。

若い男、受付1に「Eの5」と書かれた

紅色の玉を渡す。

受付1、若い男に挑戦券を手渡す。

若い男、人々に激励され、梯子をのぼっ

ていく。

× × × × (60年経過)

哲也（84）、座りこんでいる。

哲也、すっかり老い、顔中しわだけ。

テントの掲示板に紙が張り出される。

紙に「カーマイン 5の5」の文字。

哲也、ポケットから赤い玉を取り出す。

哲也、玉を見てポケットにしまおうとする。

中年の女、哲也の肩を叩く。

中年の女、哲也の玉を指さす。

哲也、わからない。

中年の女、掲示板の張り紙を指さす。

○テロップ画面

「抽選に当たってますよ」

○地下部屋

哲也、慌てて立ち上がる。

×

×

×

哲也、受付に赤い玉を渡す。

受付、玉を見て、哲也に挑戦券を手渡す。

哲也、梯子の前に立つ。

哲也、梯子を見上げる。

哲也、人々に見送られて梯子をのぼり始める。

○どこまでも続く梯子

哲也、苦しそうに登ってゆく。

○シュレーディングー家・客間

シャンデリアのある明るい室内。

哲也、地下と繋がっている床下の穴から息絶え絶えで現れる。

哲也、眩しさに目を覆う。

哲也、目を開けると目の前に執事が立っている。

執事、哲也を椅子に座らせる。

執事、戸棚から小箱を取り出す。

執事、小箱を開ける。

小箱の中にはいくつもの飴玉。

飴玉の袋には「木村陽平」「林頭子」

「松山ひかり」など姓名が書かれている。

執事、小箱から飴玉を一つ取る。

袋には「栗林太郎」と書かれている。

執事、袋を開け、飴玉を哲也の口の中に入れてる。

哲也、脳裏に稲妻が走る。

○病院・分娩室

栗林太郎（○）、母百合子の胸元に抱かれている。

○栗林家・居間

太郎（㊦）、柱にぴたりと背中をくっつけている。

百合子、太郎の身長を測っている。

百合子、マジックペンで柱に印をつける。

○テロップ画面

「また大きくなったね」

○シュレーディングー家・客間

哲也、目を閉じている。

哲也、心なしか顔のしわがうっすらと消えている。

○栗林家・居間

学生服を着た太郎（15）、台所を通りかかる。

百合子、太郎を見上げる。

○テロップ画面

「背、また伸びたんじゃない？」

○栗林家・居間

太郎、たくさんの印のついた柱を見る。

太郎、柱に背をつけ、頭に手を当てて身

長を計る。

太郎の手の位置、最後に付けられた印よりもうんと高い。

○シユレーディング家・客間

哲也、栗林の成長と反比例するように徐々に若さを取り戻している。

○食堂・厨房

太郎（20）、野菜を剥いている。

そばで亜美、重たいダンボール箱を持ってずにいる。

太郎、代わりに持ってやる。

二人、微笑む。

○映画館・館内

太郎と亜美、映画を見ている。

太郎、亜美へそつと手を伸ばす。

が、躊躇して亜美の手を触れられずにいる。

○シュレーディングー家・客間

哲也、目を閉じている。

哲也、先ほどよりも若返っている。

○結婚式場

太郎（23）と亜美の結婚式。

二人、誓いのキスをする。

○道・冬の朝

太郎と亜美、並んで歩いている。

○テロップ画面

「なんか心地いい肌寒さ」

「きっと二人一緒にいるからさ」

「…」

「隣に君がいなかったら、寒いだけかも」

○道・冬の朝

亜美、太郎の手を握る。

太郎、強く握り返す。

二人、見つめ合う。

○テロップ画面

「こんな幸せがずっと続けばいいな」

○太郎の家・居間

太郎（30）と亜美、皿を投げ合って夫婦喧嘩をしている。

娘の愛、怖がって泣いている。

○会社・夜のオフィス

太郎、机に座って残業をしている。

○シュレーディングー家・客間

哲也、目を閉じている。

哲也、先ほどよりも若返っている。

○太郎の家・洗面所

太郎（50）、鏡で自分の顔を見る。

太郎、顔のしわに気づく。

○シュレーディングー家・客間

哲也、目をつぶっている。

哲也、すっかり顔のしわがなくなっている。

○病院・病室

太郎（60）、ベッドで眠っている。

亜美と愛、泣いている。

○同・霊安室

看護婦、太郎に白い布を被せる。

○シュレーディングー家・客間

すっかり若返った哲也（24）。

執事、哲也にバケツを差し出す。

哲也、口の中の飴玉をバケツに吐き出す。

飴玉、どす黒く変色している。

哲也、戸惑いながら周囲を見渡す。

○テロップ画面

「ここはどこだ？」

○客間

執事、説明書を哲也に渡す。

哲也、説明書に目をやる。

説明書にはベッド争奪戦のルールが図解付きで載っている。

哲也、説明書を読む。

×

×

×

哲也、糸で天井に吊られている。

客間の床が開く。

哲也、床穴へゆっくりと垂れ下がる。

○大広間

哲也、降りてくる。

老人となった長女（86）、レバーを引いてベッドをスライドさせたまま悠々と読書している。

哲也、仰天する。

今にも切れそうな糸。

哲也、一か八か体を揺すり、振り子のように糸をブラブラさせる。

ちょうどベッドの真上で糸が切れる。

哲也、ベッドに落下する。

哲也、長女と揉み合う。

哲也、長女を穴に突き落とす。

○テロップ画面

「やったぞ！」

○大広間

哲也、ガッツポーズ。

が、長女、まだベッドの下に張り付いて

